学校番号	112

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」（数研出版）						
副教材等	「学ぶぞ　古文と漢文」（尚文出版）「ニュースフェイズ言語文化」（第一学習社） 「学ぶぞ　古文と漢文　標準演習ノート」（尚文出版） 「みるみる覚える古文単語 300＋30」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「言語文化」では、様々な文章に親しんで「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・授業には、話し合いや文章記述、発表などの場もありますが、自ら学ぶ姿勢をもって参加してください。
・古典分野では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、内容を正しく理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・授業を受けていて疑問に感じたことは、早目に質問してください。
・課題・提出物は期限内に提出しましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
２）人間関係において互いの立場や考えを尊重し、相互理解を深め、適切に意思を伝え合うことができる。言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
３）伝統的な言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したい、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりのなかで伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読者に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文　説話 ［教材］ 宇治拾遺物語 「児のそら寝」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b：「読」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト
	古文　随筆 ［教材］ 徒然草 「丹波に出雲という所あり」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b：「読」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出し、今までの学習を活かして話し合いに参加しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト
	古文　歌物語 ［教材］ 伊勢物語 「芥川」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b：「読」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト
二学期	漢文　入門 ［教材］ 入門一 入門二	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b：「読」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト
	漢文　故事 ［教材］ 漁夫之利	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b：「書」において、本文を繰り返し音読し，正しく書き下し文を書くことで，書き下し文のきまりを確認する。 c：故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト
	漢文　漢詩 ［教材］ 登鸛鵲楼	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト

		b:「読」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。			
	近代小説 ［教材］ 羅生門	a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b:「読」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト
三学期	古文　随筆 ［教材］ 枕草子 雪のいと高く降りたるを 中納言参り給ひて	a:古典の世界に親しみ、古文を読むために必要な古典常識や敬語表現などについて理解している。 b:「読」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:敬語表現の学習を通じ、人物関係をより深く理解を深める努力を重ねる。	定期考査 小テスト	定期考査 ノート	ノート 小テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　（近代以降の文章）　時間　…　（　２０　）時間